

○ 施策評価シート（評価対象年度：平成23年度）

施策目標主管部課かい名	消防本部 救命課
評価シート作成者	課長 伊藤 勝一

評価対象施策目標（二課かい目標） **33 救急業務の高度化を図り、質の高い救急サービスを提供する**

1. 総合計画基本構想におけるまちづくりの目標体系での位置づけ

①基本理念	3 安全でやすらぎのある 持続可能な 暮らしづくり
②政策目標	9 生命や財産が守られるまち
③施策目標	33 救急業務の高度化を図り、質の高い救急サービスを提供する
④施策の方向性	1 救急・救助活動環境の調査・整備 2 救命講習会などの受講環境の整備 3 救急車利用の適正化

2. 施策目標の達成方針

複雑高度化してくる救命処置や救助活動に対応するために、環境の整備・調査を通し、救急隊員及び救助隊員を育成することにより、質の高いサービスを継続的に維持させます。  
救命講習会実施にあたり、指導者の養成・育成を図り、指導体制を充実させるとともに、講習会用資器材の管理及び整備をし、より多くの市民が救命講習会を受講しやすい環境を整えます。  
急速に進む高齢化社会に伴う高齢者世帯の増加による救急車利用の要求や、複雑多様化してきた社会情勢などを反映して、救急車本来の目的とは違った要請が近年増加傾向となっており、救急車の適正な利用方法について、年間を通して、市広報紙、ホームページ、リーフレット等を活用して啓発しています。また、民間搬送事業者等を利用してもらうことにより、適正化を推進します。

3. 職員配置の状況

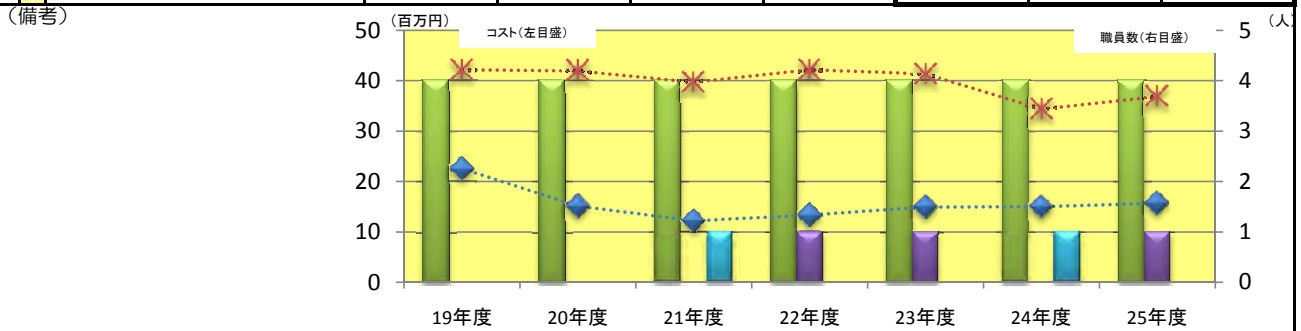
(24年3月31日現在)

No.	担当	職名	在課年数	No.	担当	職名	在課年数
1		課長	1年 月	16			年 月
2	救急救助担当	課長補佐	3年 月	17			年 月
3	救急救助担当	主査	4年 月	18			年 月
4	救急救助担当	主任	2年 月	19			年 月
5	救急救助担当	主任（再任用）	2年 月	20			年 月
6			年 月	21			年 月
7			年 月	22			年 月
8			年 月	23			年 月
9			年 月	24			年 月
10			年 月	25			年 月
11			年 月	26			年 月
12			年 月	27			年 月
13			年 月	28			年 月
14			年 月	29			年 月
15			年 月	30			年 月
職員数計 5名（うち常勤 4名・再任用 1名）外 非常勤嘱託 0名・臨時 0名・その他 0名							

4. 施策推進コスト

(単位：事業、職員1人千円/職員数人)

一般会計	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c	64,749	57,105	51,971	55,524	56,349	49,409	52,640
財源内訳							
特定国庫支出金	2,652	0	461	460	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	19,922	15,173	11,761	12,874	14,976	15,009	15,740
事業実施に係るコスト b (折れ線グラフ)	22,574	15,173	12,222	13,334	14,976	15,009	15,740
うち委託料	1,822	1,932	1,790	1,950	1,910	2,130	2,270
従事職員に係るコスト c (折れ線グラフ)	42,175	41,932	39,749	42,190	41,373	34,400	36,900
常勤職員数 (棒グラフ左)	4	4	4	4	4	4	4
再任用職員数 (棒グラフ中)	0	0	0	1	1	0	1
非常勤・臨時等職員数 (棒グラフ右)	0	0	1	0	0	1	0



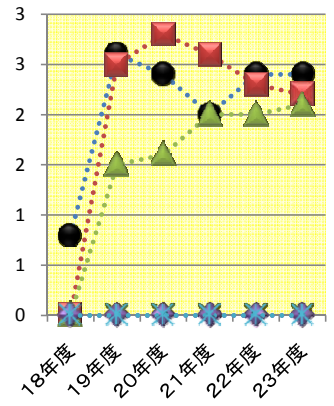
5. 施策目標の達成状況

No.	指標名 指標算出式・ 定義等	単位	目標値	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
			実績値	—	—	—	—	目標値
			進捗率	—	—	—	見込値	目標値
				—	—	進捗率	進捗率	100%
1	各種救命講習会の累計 受講者数	45000人	—	—	—	—	—	45,000
				25,000	30,624	36,273	40,000	45,000
				—	—	56.4%	75.0%	100.0%

(指標の他団体比較) (出所) 各消防本部の年報及び聴取によるもの(人口に対する受)

団体名\年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
●茅ヶ崎市 年度	0.8	2.6	2.4	2.0	2.4	2.4
■平塚市 年度		2.5	2.8	2.6	2.3	2.2
▲藤沢市 年度		1.5	1.6	2.0	2.0	2.1
◆						
*						単位%

(指標の進捗状況分析)  
21年度までは、各年度による受講者の増減はありますが、22年度からは、年度ごとに目標値を超え、着実に目標値達成に向かっていきます。



6. 施策目標達成のため重点的に取り組む事務事業の状況

(単位：事業費 千円)

No. 事業名(会計区分)	指標名	指標名				
		平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
事業概要	事業費	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	指標値	—	—	目標値	目標値	目標値
	実績値	現状値	実績値	実績値	—	—
指標単位	達成率	—	—	達成率	—	—
1 救命講習会拡大事業(一般会計)	受講者の延べ人数	決算 1,278	決算 1,582	決算 1,403	予算 3,391	予算 2,260
救命講習会の指導者の養成・育成を図り、指導体制の充実を推進するとともに、より多くの市民が救命講習会を受講しやすい環境を整え、受講者の増加を図ります。	人	—	—	35,000	40,000	45,000
	—	25,000	30,624	36,273	—	—
	—	—	—	103.6%	—	—
2 救急車利用適正化事業(予算なし)	救急車の不適正利用率(低いほど良)	決算	決算	決算 0	予算 0	予算 0
救急車利用の適正化を図るため、適正な利用方法について市広報紙、ホームページ、リーフレットなどを活用して周知します。また、緊急の処置を要さない方の移動手段として、民間搬送事業者などを利用してもらうように促します。	%	—	—	15	15	15
	—	—	—	10	—	—
	—	—	—	150.0%	—	—
3 安心カプセル・安心カード推進事業(一般会計)	カプセルの配布数	決算	決算	決算 457	予算 1,524	予算 1,524
市民に広く安心カードと安心カプセルを配布し、それを活用することにより、救急隊員が迅速に情報収集を行い、救急活動に役立ちます。	個	—	—	5,000	4,000	4,000
	—	—	—	5,250	—	—
	—	—	—	105.0%	—	—
4 AED(自動体外式除細動器)の整備及び運用(一般会計)	AEDのバッテリー交換台数/パッド交換組数	決算 2,814	決算 3,496	決算 4,472	予算 2,534	予算 4,260
公共施設などへ設置した自動体外式除細動器(AED)の維持のために、消耗品などを定期的に交換するとともに管理します。また、AEDへの認識を高め、民間事業所などへのAED設置推進の啓発を継続的に進めます。	台	—	—	51/185	14/214	44/182
	組	51/175	38/187	52/123	—	—
	—	—	—	102%/66.5%	—	—
5 救急救命士の養成及び育成(一般会計)	救急救命士の養成、育成人数	決算 6,572	決算 6,689	決算 6,703	予算 6,921	予算 7,064
高度化してくる救命処置に対応するために、救急救命士を計画的に養成・育成することにより、質の高い救急サービスを維持し、一定数の救命士を継続して確保します。	人	—	—	22	25	25
	—	20	21	22	—	—
	—	—	—	100.0%	—	—

7. 施策目標達成に向けた取り組みの評価

① 施策目標達成に向けた指標の進捗状況	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 大きく遅れている
② これまでの取り組みと成果	<p style="text-align: center;">25年度目標値達成可能 <span style="margin-left: 100px;">25年度目標値達成困難</span></p> <p>①平成6年度から応急手当普及啓発活動を展開してきましたが、平成17年度に「茅ヶ崎市応急手当普及協会」が発足し、市民による市民への講習会が実現したことで受講者も増え、平成23年度までの受講者は延べ36,273人となりました。</p> <p>②急速に進む高齢化に伴い、救急件数は増える一方ですが、緊急度及び重症度の高い傷病者に救急車を利用してもらえるよう、ホームページや市広報紙などを活用し、啓発することで、平成23年度の軽症者に占める不適正な救急搬送の割合が減少した。</p> <p>③民生委員の方の協力を得て、ひとり暮らしの高齢者や障害者世帯を主な対象として安心カプセルを配布していただき、又、配布窓口をホームページ・市広報紙などで周知することにより、5,000セットの配布予定のところ、平成23年度はカプセルとカードのセットを5,250組、カードを11,000枚配布いたしました。</p> <p>④AED(自動体外式除細動器)の使用規制緩和により、平成16年7月から一般市民が使用することが可能となり、平成17年度から本事業を開始し、4年間で市内の公共施設に103器設置し、平成23年度までに6施設(内1施設は2回)計7回使用され2名の方が社会復帰されました。</p> <p>⑤平成3年の救急救命士法の制定により、救急救命士の養成が急務となり、平成5年度から平成23年度までに合計35名(資格取得採用者は除く)の救急救命士を養成しました。</p>
③ 課題認識と解決への方策	<p>①今後も円滑な講習会を実施するため、応急手当普及員の増員と講習会用資器材の管理及び整備をしていきます。</p> <p>②今後もさらなる高齢化に伴い救急件数は増えると思われませんが、引き続きホームページや市広報紙などを活用していきます。</p> <p>③昨年度の事業開始時、民生委員の方にカプセル3,000個を暫定的に配布していただきましたが、現況の必要数を確認していただき、新たな配布をお願いしていきます。茅ヶ崎市応急手当普及協会主催の各イベントの際に配布していきます。</p> <p>④平成17年度からAED(自動体外式除細動器)の設置事業を開始し、維持管理をしていますが、平成17年度に設置したAED(自動体外式除細動器)は平成27年度に交換必要時期(製造物責任法(PL法)による有効期間)を迎えるため、維持費及び人件費の軽減を考慮し、順次、業務委託のリース方式に変更していきます。</p> <p>⑤近年、救急救命士の処置拡大により救命処置項目が増える予想されているが、円滑な救命処置活動を行い、現場滞在時間を短縮するため、引き続き年間2名の救命士を養成していき、常時1隊2名の救急救命士乗車を目指します。</p>
④ 議会等からの指摘・要望事項	「救命講習会拡大事業」について(平成23年第3回定例会 平成22年度事業評価による)

8. 施策目標達成を目指して実施する事務事業

(単位:千円)

合計(ア) = (イ) + (ウ)

12,222	13,334	14,976	15,009	15,740
--------	--------	--------	--------	--------

No.	会計区分	施策の方向性番号	事業名	24年度業務計画	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	1	AED(自動体外式除細動器)の整備及び運用	重点事業	2,814	3,496	4,472	2,534	4,260
2	一般会計	1	救急救命士の養成及び育成	重点事業	6,572	6,689	6,703	6,922	7,065
3	一般会計	1	湘南地区メディカルコントロール(地域医療機関との連携)	重点事業	1,293	1,411	1,559	1,524	1,524
4	一般会計	1	安心カプセル・安心カード推進事業(23年度から)	重点事業	0	0	457	393	393
5	一般会計	2	救命講習会拡大事業 (25年度から救命講習普及啓発事業へ事業名変更)	重点事業	1,278	1,582	1,403	3,391	1,525
6	一般会計	2	救命講習会資器材整備事業(25年度から)		0	0	0	0	735
7	一般会計	1	救急、救助に係る業務内容の検討、調査及び指導		0	0	0	0	0
8	一般会計	1	救急統計及び救助統計事務		0	0	0	0	0
9	一般会計	1	市内医療機関との連携及び調整事業		0	1	1	68	68
10	一般会計	1	救急隊員の教育及び訓練実施事業		0	0	0	0	0
11	一般会計	1	救助隊員の教育及び訓練実施事業		65	155	84	177	170
12	一般会計	3	救急車利用適正化事業	重点事業	0	0	0	0	0
13	一般会計	0	災害応急対策活動		200	0	297	0	0
14	一般会計	0	庁内共通事務		0	0	0	0	0
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
			振り分け不能額						
			小計(イ)		12,222	13,334	14,976	15,009	15,740

No.	会計区分	第5次実施計画期間中に実施し、終了した事業名	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1					—	—	—
2					—	—	—
3					—	—	—
4					—	—	—
5					—	—	—
6					—	—	—
7					—	—	—
8					—	—	—
9					—	—	—
10					—	—	—
11					—	—	—
12					—	—	—
13					—	—	—
14					—	—	—
15					—	—	—
			小計(ウ)	0	0	—	—

(備考)

--